

# DIGITABLE 第 55 回勉強会レポート

2012 年 5 月 19 日 於：森下文化センター 第二研修室



安藤和会員によるプリントの明部再現の比較研究

Digitable 基礎講座「色補正の基本的手順と明るさの調整」：高木大輔講師  
参加者全員による“ライトニングトーク”（持ち時間 5 分）

Photoshop 研究講座「Silver efex（シルバーエフェックス）2」：平野正志 講師

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>

## Digitable 基礎講座 2012 第 2 回

### 色補正の基本的手順と明るさの調整：高木大輔講師

#### ○色補正の基本的手順

画像の劣化を最小限度にして補正を行うための正しい補正の手順をまとめておく。(Photoshop CS シリーズの場合)

1. ヒストグラムで画像の状態を把握
2. トーンカーブで各チャンネルごとに調整
3. トーンカーブのコンジットチャンネルで調整
4. [色相・彩度] で色ごとに調整
5. [色相・彩度] で全体の彩度を調整
6. ノイズを加える

OPTION. サイズ調整、シャープ調整

尚、当初から明らかに大きな画像サイズが必要な場合は RAW 現像の段階で、拡大描き出しを行った方が有利。

#### ○明るさの表記

明るさの正しい概念をつかむために、まず画像を明るさのみの「モノクロ画像」として捉えよう。図のモノクロ写真は、最も明るい部分から最も暗い部分までが 1 枚の中にほどよく納められている。

#### ○レベル補正の実際

Photoshop の「レベル補正」ではヒストグラムを見ながら、明るさの大きな調整をすることが出来る。

明るさ補正では、画像のレベル分布を見て左右への偏りが無くなるよう平均化していくのが考えやすいだろう。

#### ○トーンカーブ補正の実際

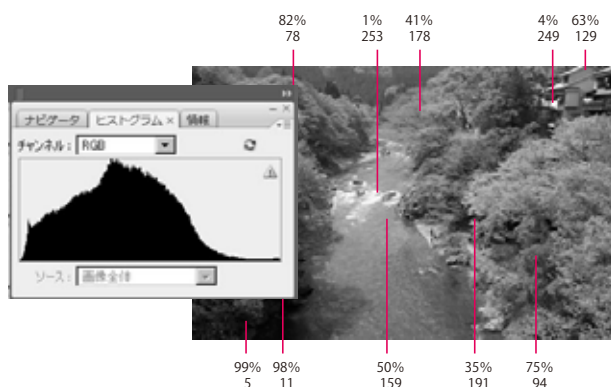
写真の画質に関わる細かな調整には、「トーンカーブ」の機能を理解しよう。

レベル補正では補正のポイントがシャドウ側、中間点、ハイライトの 3 か所しかないが、トーンカーブでは事由に何力所でも設定出来る。斜め 45° の斜線によって表されるが、この斜め 45° のラインより上に移動させればその部分の濃淡のレベルは本来の表示より明るく表示され、逆にそのラインより下に下げれば暗く表現されるという仕組みだ。

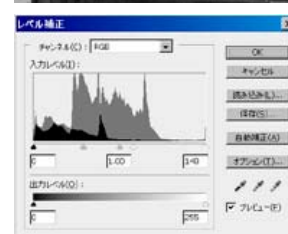
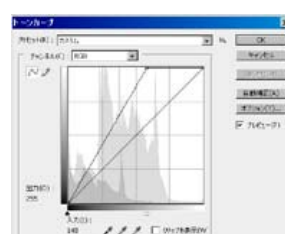
\*\*\*\*\*



色補正の基本的手順を解説する高木大輔講師



1 枚の画像の中に含まれる「明るさ」



トーンカーブ補正 (左) とレベル補正 (右) で同じ補正值を入れた場合

## 参加者全員による “ライトニングトーク”

(各自持ち時間 5分)

T 講師は鎌倉撮影会でのピンホールデジタルの発表  
AYさんはPhotoshopCS6の使用レポート、部分補正の強化が特徴のようで、保存をバックで行うのも快適という  
IFさんは鎌倉撮での作品、何気ない物への視線が優しい  
EYさんも鎌倉でのブローニーでの本格的な細密ピンホール  
SYさんはMichael Kennaの写真集IN FRANCEを紹介  
KMさんはSilver efexを使用しての発作品を披露  
KSさんは裁判と糖尿病というユニークな雑感  
YAさんはNUDE撮影会情報とその最近作を披露  
H講師は和紙プリントの追加表現を見せてくれた  
...

\*\*\*\*\*

## Photoshop 研究講座 平野正志 講師 「Silver efex (シルバーエフェックス) 2」

### ○ノイズと粒状感

フォトショップではRAW現像時に粒状を加えられるようになった。ノイズを加えるでもザラツキを加えることはできるが、ノイズとは大きな違いとなるようだ。

RAW現像での粒子では一応の粒状感としては整っているようだ。カラー画像に加えることが出来る粒状感となる。

### ○フィルムタイプ

粒状感については、フィルムの銘柄が感度ごとに並べられている。フィルムの種類は18種と豊富で、それぞれのフィルムの特性に合わせて粒状の大きさだけでなく明るさコントラストなども調整されるようだ。フィルムに習ってISO感度を上げるごとに粒状感を強調しているのが分かる。

### ○フィルター効果

シルバーエフェックスには、フィルター効果があり、モノクロフィルムにモノクロ用フィルターをかけたような効果が現れる。フィルターには、赤、オレンジ、黄色、緑、青がある。フォトショップで言えば、レンズフィルターにあたるが、フォトショップのレンズフィルターは、実際のモノクロフィルムをシュミレートしたものではなさそうだ。

### ○フレーム枠

シルバーエフェックスではフレームをつけることが出来る。初期状態ではかなりのトリミングになるので、注意が必要。どうしてもトリミングしたくない場合には、前述のように、キャンバスサイズで周りのサイズを調整するなど必要。

### ○Jpeg画像の加工

あまりにちいさなJpeg画像からの調整では、トーンジャンプなどが起こりやすいようだ。基本的には出来るだけ大きな画像ファイルでの調整が望ましい。

\*\*\*\*\*



プリントサンプルの質問に応える平野正志講師



左は TRY-X を選んだシルバーエフェックス  
右はフォトショップでの粒子



今月の1枚：完成したNY会員のスタジオ  
ここがポートレートの聖地となる！？



シルバーエフェックスでのフレーム効果の例